



3.5型 Mirror Drive  
SCSI / AT MODEL  
AXRD-N Series

ドライブ・ユニット  
交換手順 説明書

P/N A202653

Revision 1.3

---

Storage Vision Co.,Ltd.

# はじめに

---

このたびは当社 3.5型 Mirror Drive SCSI/AT Model AXRD-N Series用交換ドライブ・ユニットをお買い求めいただきましてありがとうございます。

## 注意事項

最初にこのドライブ・ユニット交換手順説明書を必ずお読みください。

本書では、3.5型 Mirror Drive SCSI/AT Model AXRD-N Series用交換ドライブ・ユニット（以降ドライブ・ユニットと呼びます。）の交換手順を説明しています。

## 梱包箱および梱包材の保管

本製品の梱包箱および梱包材は、輸送中に生じる衝撃からドライブ・ユニットを保護します。

開梱後は、大切に保管し、修理などでの輸送の際にご利用ください。

また、本製品は出荷時に静電防止防湿袋により密封されておりますので、設置あるいは使用直前に開封されるようお願いいたします。

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

本書の内容については万全を期しておりますが、不明な点や誤りなどがありましたら巻末のお客様サポ - ト・オフィスまでお知らせください。

Copyright(c) Storage Vision Co., Ltd All rights reserved.

# 安全にお使いいただくために

本製品を安全に正しくお使いいただくために、このドライブ・ユニット交換手順書は安全表示を使用しています。これらの記載事項は安全のために必ずお守り下さい。

## 絵表示について

本製品を正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、このドライブ・ユニット交換手順書および本製品への安全表示については、以下の絵表示を使用しています。

	<b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人の死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	<b>重要</b>	装置の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項を示しています。

## 危険 / 注意ラベル表示について

本製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがあるときは、安全上に関する危険または注意のラベルです。必ず表示の指示に従ってください。

このドライブ・ユニット交換手順書に記載されている以外に、危険または注意ラベルによる表示があるときは、必ずその指示に従ってください。

## 危険

---

- ドライブ・ユニットの交換後に煙が出ている、異臭がするなどの異常事態が発生した場合は、すぐにホスト・コンピュータの電源を遮断してください。
- 高温になる場所、湿気が多い場所では使用しないでください。  
火災、感電、故障の原因になります。
- 本製品は分解しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ドライブ・ユニットの交換時に、**Mirror Drive**本体のケーブル類を抜き差しする場合には、ホスト・コンピュータおよび接続される機器の電源を必ず遮断してから行ってください。  
また、ケーブル類を無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。  
火災、感電、故障の原因になります。

## 注意

---

- 振動や衝撃の発生する場所で使用しないでください。誤動作、故障の原因となります。
- 急激に温度差を与えると、機器が結露して故障の原因となります。結露させないようにご注意ください。万一結露させてしまった場合には、しばらく放置し、完全に乾いたことを確認してからご使用ください。
- テレビ、スピーカーなどの強い電磁気を発生する電子機器の近くには置かないでください。誤動作、故障の原因となります。
- 移動する場合は、振動や衝撃を与えないようにしてください。誤動作、故障の原因となります。
- 短時間にMirror Drive本体の電源のオン/オフを繰り返すと、止まりかけたディスクの回転を再度始めることになり、ドライブ・ユニットのスピンダル・モータやヘッドなどにダメージを与え、寿命を短くする恐れがあります。電源をオフした場合、ドライブ・ユニット内部のディスクが停止するのに十分な時間（約15秒）をおいてから、電源をオンしてください。
- 長期間（3ヶ月以上）、通電しない状態で放置、保管しないでください。誤動作、故障の原因となります。
- ドライブ・ユニットのカバ - 表面を押さないでください。誤動作、故障の原因となります。
- 通電中は、本製品に触れないでください。誤動作、故障の原因となります。

## ! 重要

---

- 重要なデータは必ずテープ装置やMO装置にバックアップをお取りください。  
Mirror Drive本体はミラーリングにより、1台のドライブ・ユニットに障害が発生してもデータの損失を防ぐよう設計されています。もし2台のドライブ・ユニットに同時に障害が発生した場合や、冗長化されていない部品に障害が発生した場合はデータが消失する恐れがあります。また、人為的なデータの消去、機器の損壊などの理由によりデータを消失する恐れもあります。
- ドライブ・ユニット表面の穴をふさぐとドライブ・ユニットの故障の原因となりますので、絶対にふさがないようにください。
- Mirror Drive本体はキャッシュ・メモリーを使用していますので、緊急時以外はオペレーティング・システムのシャットダウンの手順に従うか、またはアクセス・インジケータが10秒以上消灯していることを確認してから電源を遮断してください。  
キャッシュ・メモリー内のデータが消失する恐れがあります。
- 各ドライブ・ユニットは、シリアル番号で管理されています。ドライブ・ユニット交換時以外は、ドライブ・ユニットを外したり、入れ替えたりしないでください。起動できなくなります。
- ドライブ・ユニット交換後は、Mirror Drive本体をホスト・コンピュータ内の取り付けベイにしっかりと固定してください。  
(推奨締め付けトルク0.49 N・m)

## 静電気に関する注意事項

---

静電気による損傷を回避するために、本製品を取扱う際には、以下の注意を守ってください。

- 本製品を扱うときは、ホスト・コンピュータなどの金属部分に触り、体内の静電気を逃がしてください。
- 本製品を扱うときは、アルミフレームの端を持ってください。回路の露出部には決して手を触れないでください。
- ドライブ・ユニット交換時および開封後に他の場所に置く場合は、本製品が入っていた静電防止防湿袋を凸凹のない平らな面に置き、その上に置くようにしてください。

# [目次]

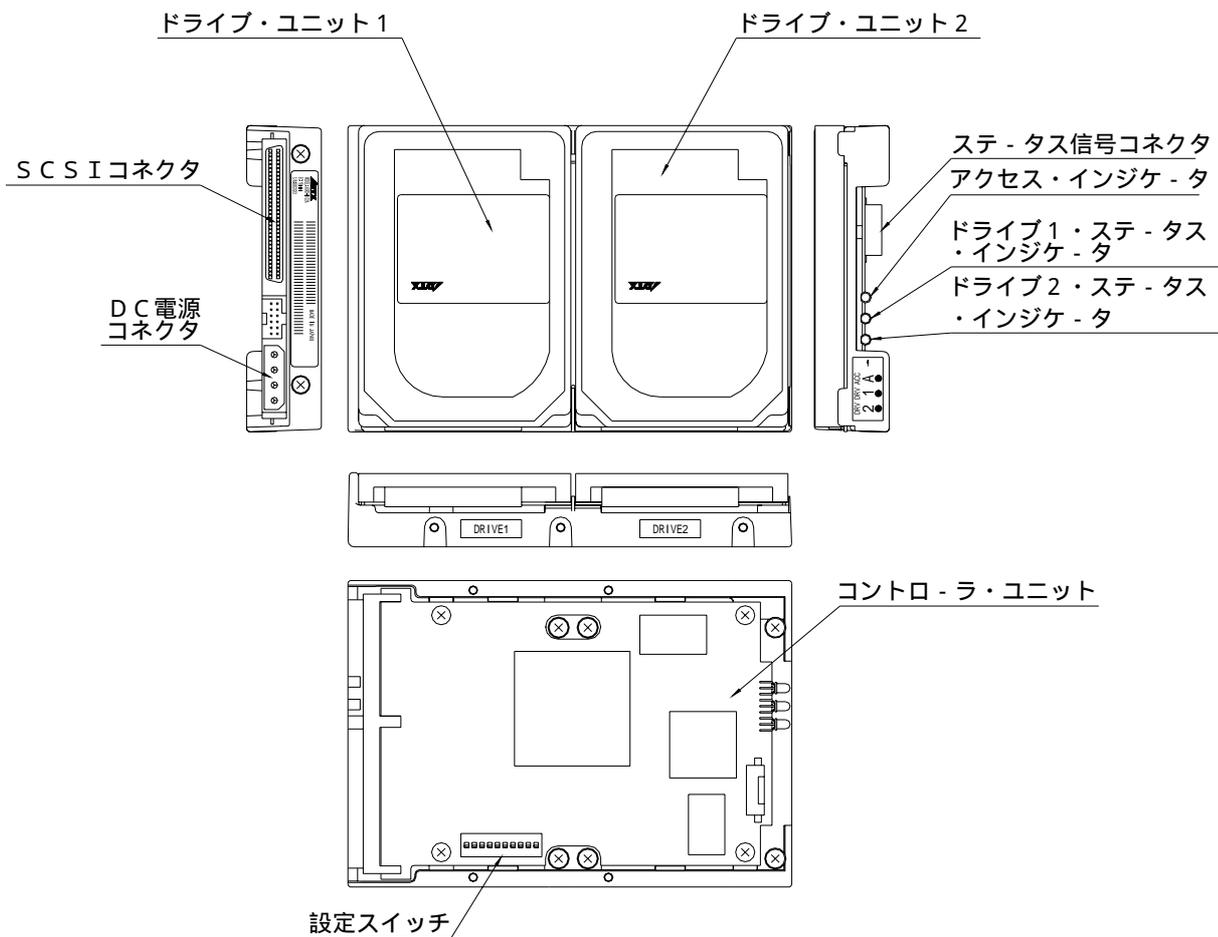
---

はじめに .....	i
安全にお使いいただくために .....	ii
危険 .....	iii
注意 .....	iv
重要 .....	v
静電気に関する注意事項 .....	vi
[目次] .....	vii
1 各部の名称 .....	1
1.1 Mirror Drive (SCSI Model) .....	1
1.2 Mirror Drive (AT Model) .....	2
2 障害状況の確認 .....	3
2.1 インジケ - タでの確認 .....	3
2.1.1 Mirror Drive (SCSI Model)の場合 .....	3
2.1.2 Mirror Drive (AT Model)の場合 .....	4
2.2 ブザ - での確認 .....	5
3 ドライブ・ユニットの交換 .....	6
3.1 Mirror Drive (SCSI Model)の場合 .....	6
3.2 Mirror Drive (AT Model)の場合 .....	14
4 デ - タの再構築 .....	22
お問い合わせ .....	23

# 1 各部の名称

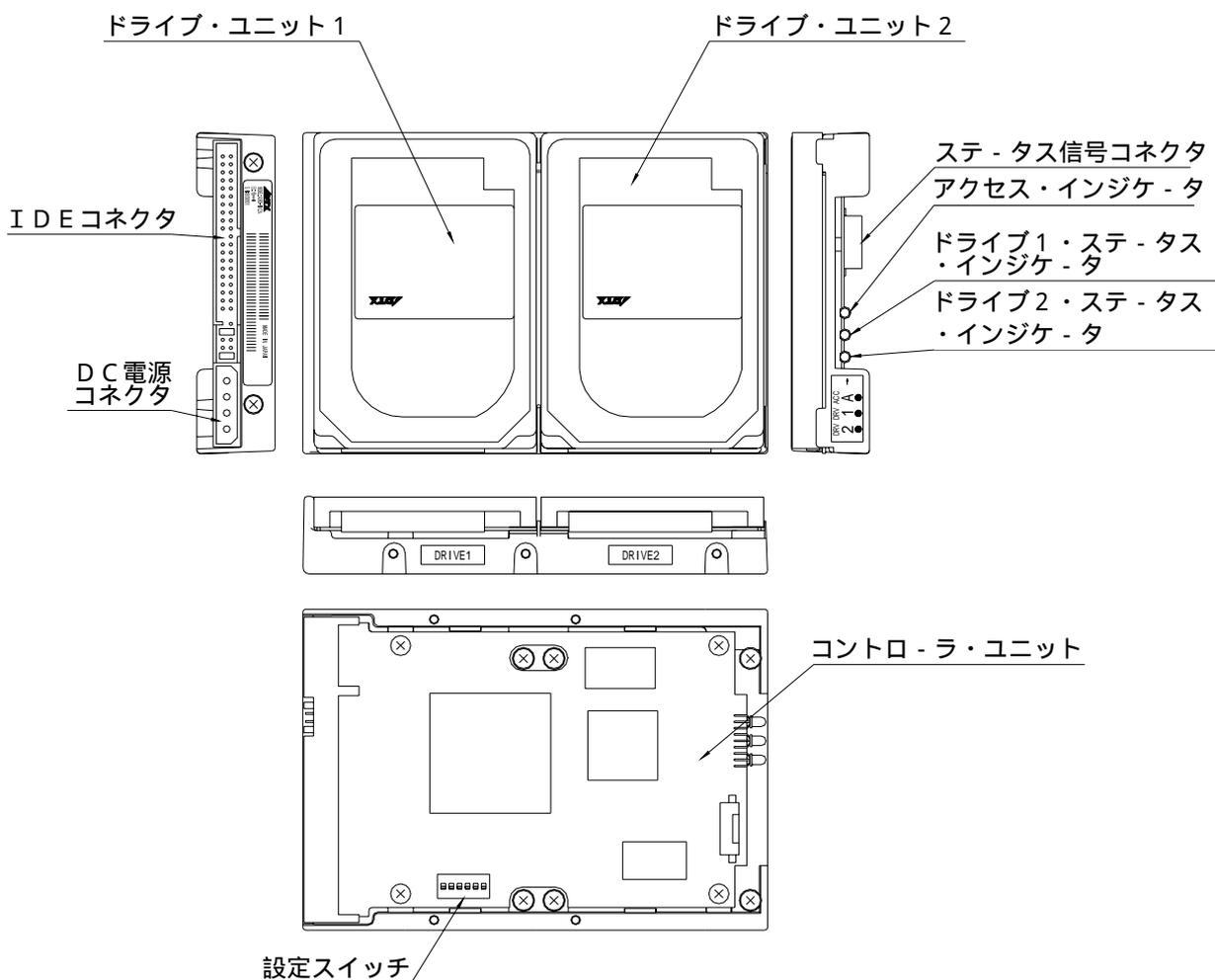
## 1.1 Mirror Drive (SCSI Model)

本製品を取付けるMirror Drive (SCSI Model) の外観と各部の名称を下記に示します。



## 1.2 Mirror Drive (AT Model)

本製品を取付けるMirror Drive (AT Model) の外観と各部の名称を下記に示します。



## 2 障害状況の確認

### 2.1 インジケータでの確認

#### 2.1.1 Mirror Drive (SCSI Model) の場合

Mirror Driveが故障した場合、アクセス・インジケータが橙色に点灯あるいは橙色に点滅し、ドライブ・ステータス・インジケータが橙色に点灯します。また、ブザー・モードがオンの場合、ブザーが鳴ります。これらの状態を確認した上で障害を切り分けてください。

アクセス・インジケータ	ドライブ・ステータス・インジケータ		処置、状態
	ドライブ1	ドライブ2	
---	---	---	正常動作。
橙点滅	消灯	緑点灯	ドライブ・ユニット1からドライブ・ユニット2へデータの再構築中。(正常動作)
橙点滅	緑点灯	消灯	ドライブ・ユニット2からドライブ・ユニット1へデータの再構築中。(正常動作)
---	橙点灯	---	ドライブ・ユニット1の故障です。 ドライブ・ユニット1を交換してください。
---	---	橙点灯	ドライブ・ユニット2の故障です。 ドライブ・ユニット2を交換してください。
橙点灯	---	---	コントローラ・ユニットの故障です。 コントローラ・ユニットを交換してください。
消灯	消灯	消灯	電源の供給状態を確認してください。 復旧しない場合は、巻末のサポートデスクまでお問い合わせください。
橙点滅	消灯	消灯	<1> 両ドライブ・ユニットの接続状態を確認してください。復旧しない場合は、巻末のサポートデスクまでお問い合わせください。 <2> 交換するドライブ・ユニットを間違えています。 一旦、元の状態に戻してからやり直してください。 上記のいずれかを示します。
その他の点灯、点滅			巻末のサポートデスクまでお問い合わせください。

---：通常は消灯、アクセス時に緑点灯または点滅

ドライブ・ユニットを交換しても復旧しない場合は、巻末のサポートデスクまでお問い合わせください。

## 2.1.2 Mirror Drive (AT Model) の場合

Mirror Driveが故障した場合、アクセス・インジケータが橙色に点灯あるいは橙色に点滅し、ドライブ・ステータス・インジケータが赤色に点灯します。また、ブザー・モードがオンの場合、ブザーが鳴ります。これらの状態を確認した上で障害を切り分けてください。

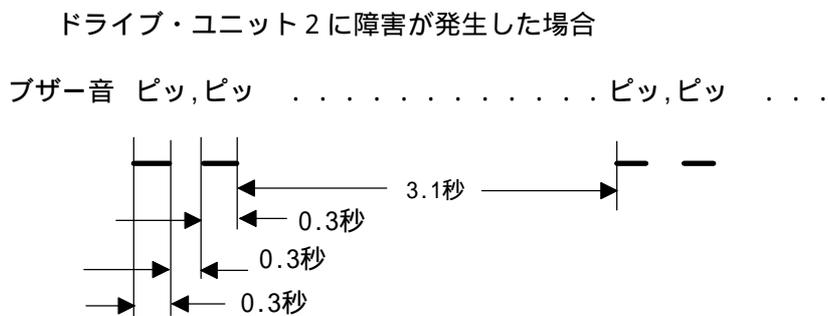
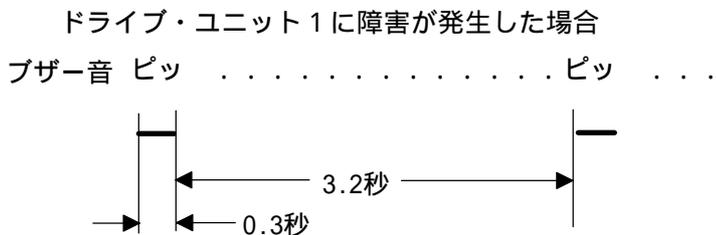
アクセス・インジケータ	ドライブ・ステータス・インジケータ		処置、状態
	ドライブ1	ドライブ2	
---	---	---	正常動作。
---	緑点灯	橙点灯	ドライブ・ユニット1からドライブ・ユニット2へデータの再構築中。(正常動作)
---	橙点灯	緑点灯	ドライブ・ユニット2からドライブ・ユニット1へデータの再構築中。(正常動作)
---	赤点灯	---	ドライブ・ユニット1の故障です。 ドライブ・ユニット1を交換してください。
---	---	赤点灯	ドライブ・ユニット2の故障です。 ドライブ・ユニット2を交換してください。
橙点灯	---	---	コントローラ・ユニットの故障です。 コントローラ・ユニットを交換してください。
消灯	消灯	消灯	電源の供給状態を確認してください。 復旧しない場合は、巻末のサポ - トデスクまでお問い合わせください。
橙点滅	消灯	消灯	両ドライブ・ユニットの接続状態を確認してください。 復旧しない場合は、巻末のサポ - トデスクまでお問い合わせください。
橙点滅	緑点灯	緑点灯	交換するドライブ・ユニットを間違えています。 一旦、元の状態に戻してからやり直してください。
その他の点灯、点滅			巻末のサポ - トデスクまでお問い合わせください。

--- : 通常は消灯、アクセス時に緑点灯または点滅

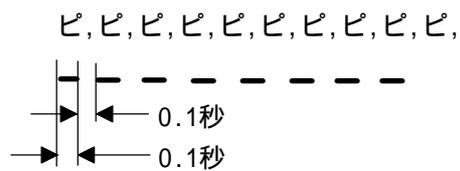
ドライブ・ユニットを交換しても復旧しない場合は、巻末のサポ - トデスクまでお問い合わせください。

## 2.2 ブザー - での確認

ブザー・モードがオンの場合、故障検出時に以下の間隔でブザー - が鳴ります。



2 台のドライブ・ユニットが故障している場合など



## 3 ドライブ・ユニットの交換

### 3.1 Mirror Drive (SCSI Model) の場合

ホスト・コンピュータの電源を遮断し、Mirror Driveを取り外してからドライブ・ユニットの交換を行ってください。

ドライブ・ユニットを交換後、ホスト・コンピュータにMirror Driveを取りつけてから電源を投入すると自動的にデータの再構築が始まります。データの再構築中も、ホスト・コンピュータからのアクセスに対して正常に動作します。

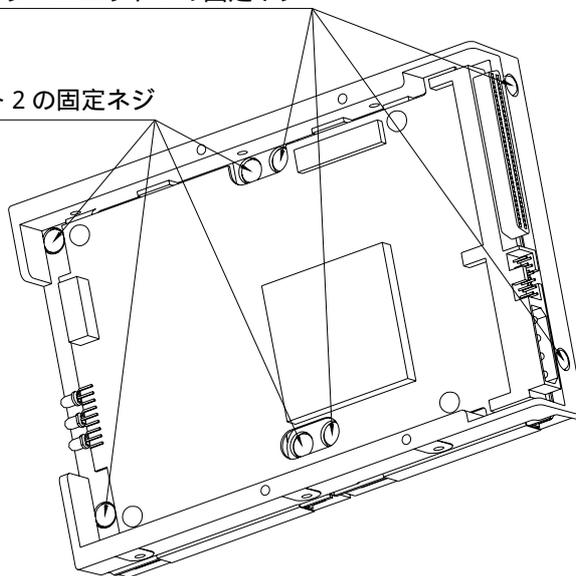
	<b>注意</b>	ドライブ・ユニットの交換作業を行う時は、ホスト・コンピュータのシャーシや電源などの金属部分に触れて、身体の静電気を放電してから行ってください。
---	-----------	---

#### ドライブ・ユニット交換手順（1台交換の場合）

1. ドライブ・ステータス・インジケータおよびブザーにより、故障したドライブ・ユニットを確認してください。
2. Mirror Driveをホスト・コンピュータより取り外してください。
3. 故障したドライブ・ユニットを固定している4本のネジを外してください。  
ドライブ・ユニットを固定しているネジについては下図を参照してください。

ドライブ・ユニット1の固定ネジ

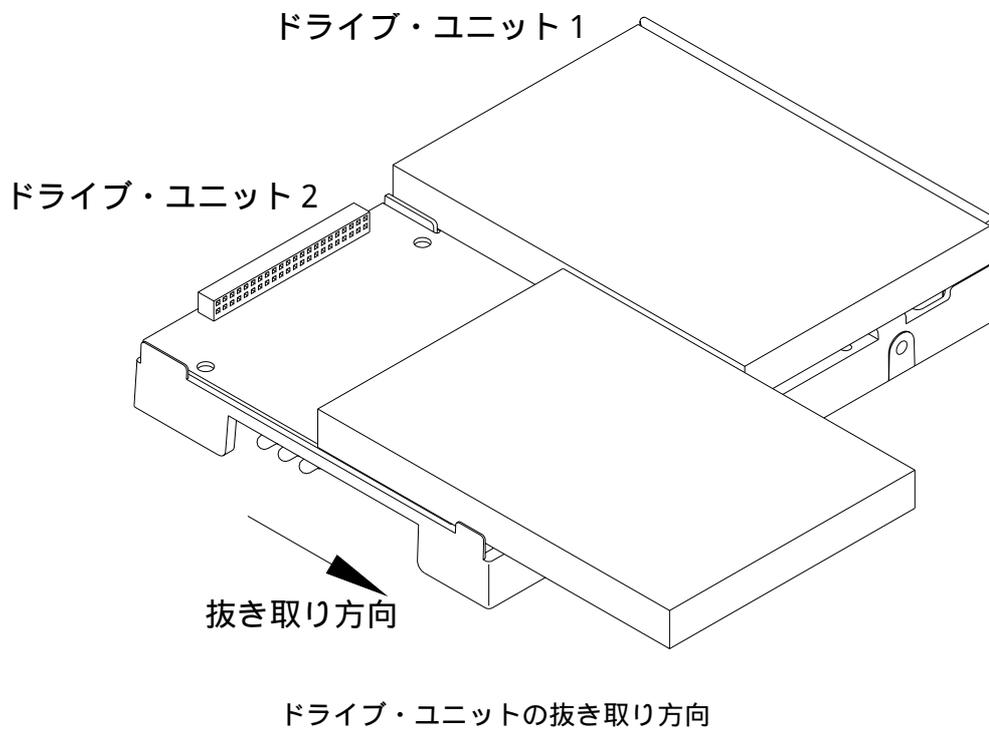
ドライブ・ユニット2の固定ネジ



ドライブ・ユニットの固定ネジ位置

	<b>注意</b>	ドライブ・ユニットを2台交換する時以外はドライブ・ユニットを2台同時に外さないでください。交換用ドライブ・ユニットについているジャンパー・ピンは、出荷時の状態でご使用ください。外したり別のピンに取付けたりすると誤動作の原因になります。
---	-----------	---

4. **Mirror Drive**を平らな場所に置いた静電防止防湿袋の上に置き、交換するドライブ・ユニットを水平にずらすようにしてコネクタから抜き取ります。抜き取る方向については下図を参照してください。



	<b>注意</b>	ドライブ・ユニットをコネクタから抜く際、ドライブ・ユニットを持ち上げたり、左右に大きくずらすようなことはしないでください。コントローラ・ユニット上のハンダ部分やコネクタの勘合部が破壊することがあります。
--	-----------	---

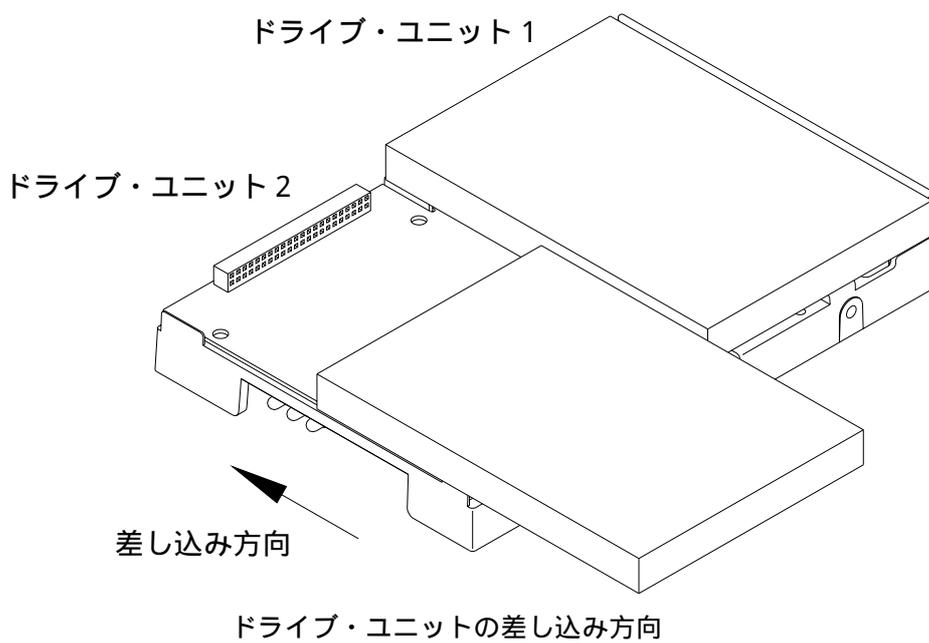
5. ドライブ・ユニットの番号を区別するために、新しいドライブ・ユニットのラベル上の対応するドライブ・ユニットの番号の  に油性マジックなどでレ点を付けてください。



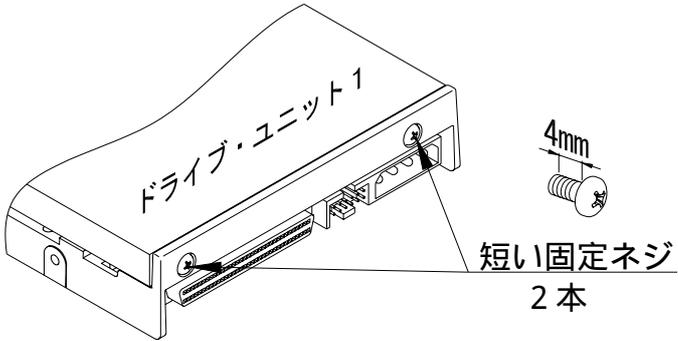
(例) ドライブ・ユニット1にチェック

	<b>注意</b>	レ点を付ける時はドライブ・ユニットの表面を強く押さないでください。 ドライブ・ユニットが故障する恐れがあります。
--	-----------	---

6. 取り外した時の逆の要領で新しい交換用ドライブ・ユニットをコネクタに差し込んでください。この時、ラベル上の対応するドライブ・ユニットの番号の  にレ点が付けられているか確認してください。



- 7. 交換用ドライブ・ユニットを固定する4本のネジを指定のトルクで締めつけてください。  
(推奨締め付けトルク 0.29 N・m)  
4本のネジは一度に締めつけず少しずつ均等に締め付けてください。

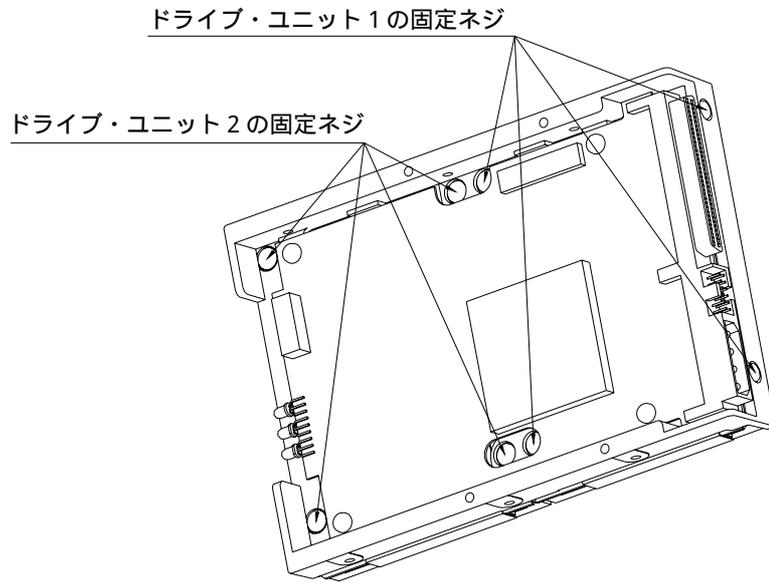
	<b>注意</b>	<p>ドライブ・ユニット1を固定するネジは、装置後部側の2本(長さ4mm)が短くなっています。この部分には他の長いネジ(長さ6mm)を使用しないでください。</p>  <p>短い固定ネジ 2本</p>
--	-----------	--

- 8. ドライブ・ユニット交換後、電源を投入すると数秒後に交換したドライブ・ユニットのドライブ・ステータス・インジケータが緑色に点灯し、データの再構築が始まります。
- 9. データの再構築中は、交換したドライブ・ユニットのドライブ・ステータス・インジケータは緑色になり、交換していない方は消灯しています。
- 10. データの再構築が終了すると、ドライブ・ステータス・インジケータは消灯します。
- 11. 交換したドライブ・ユニットのドライブ・ステータス・インジケータが、緑色に変わらない場合、または再度橙色が点灯した場合は、手順2から再度やり直してください。

	<b>重要</b>	<p>誤って故障していないドライブ・ユニットを交換してしまった場合は、両方のドライブ・ユニットのドライブ・ステータス・インジケータは消灯し、アクセス・インジケータが橙色に点滅してホスト・コンピュータからアクセスできなくなります。 この場合、電源を一度遮断し、誤って交換したドライブ・ユニットを元に戻し、手順2から再度やり直してください。</p>
--	-----------	--

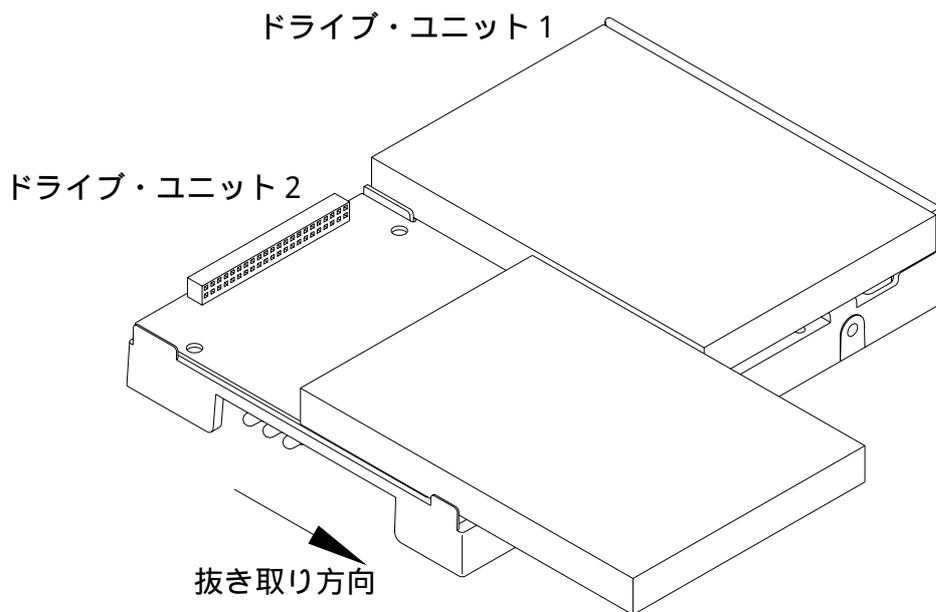
## ドライブ・ユニット交換手順（2台交換の場合）

1. Mirror Driveをホスト・コンピュータより取り外してください。
2. 両方のドライブ・ユニットを固定しているネジを外してください。  
ドライブ・ユニットを固定しているネジについては下図を参照してください。



ドライブ・ユニットの固定ネジ位置

3. Mirror Driveを平らな場所に置いた静電防止防湿袋の上に置き、ドライブ・ユニットを2台とも水平にずらすようにしてコネクタから抜き取ります。抜き取る方向については下図を参照してください。



ドライブ・ユニットの抜き取り方向

	<h2>注意</h2>	<p>ドライブ・ユニットをコネクタから抜く際、ドライブ・ユニットを持ち上げたり、左右に大きくずらすようなことはしないでください。コントローラ・ユニット上のハンダ部分やコネクタの勘合部が破壊することがあります。</p>
---	-------------	--

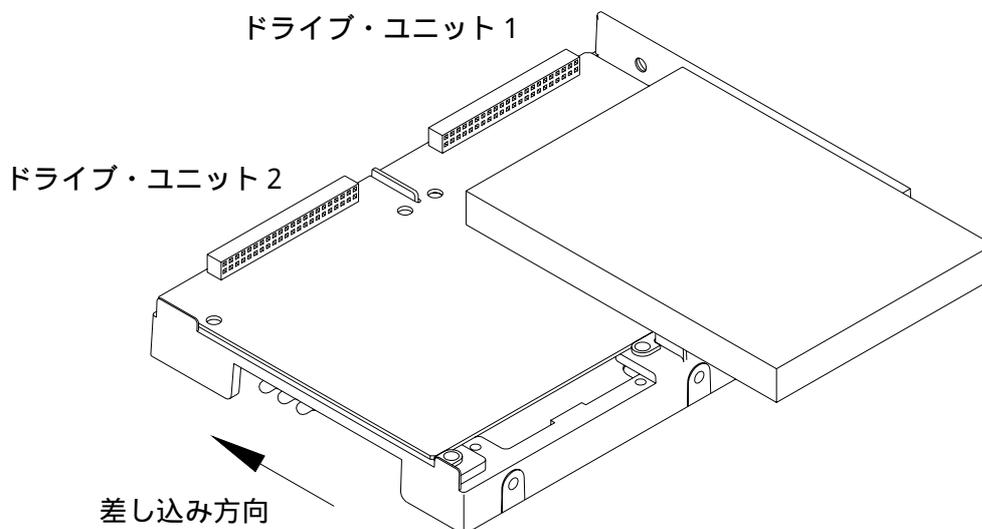
4. ドライブ・ユニットの番号を区別するために、交換用ドライブ・ユニットのラベル上の対応するドライブ・ユニットの番号の  に油性マジックなどでレ点を付けてください。



(例) ドライブ・ユニット1にチェック

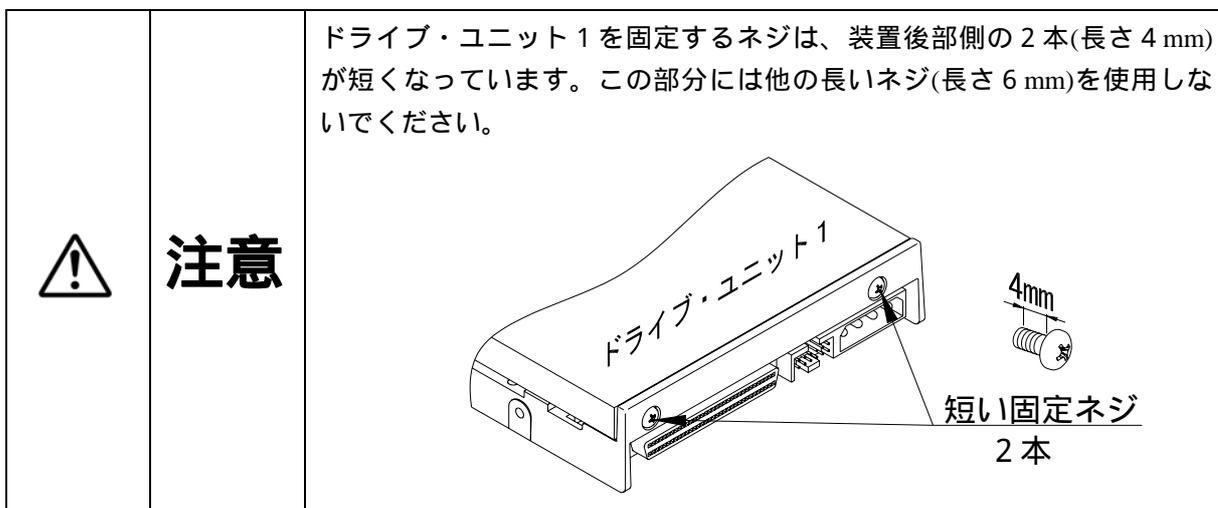
	<h2>注意</h2>	<p>レ点を付ける時はドライブ・ユニットの表面を強く押さないでください。ドライブ・ユニットが故障する恐れがあります。</p>
---	-------------	--

5. 取り外した時の逆の要領で交換用ドライブ・ユニット1をコネクタに差し込んでください。この時、ラベル上の対応するドライブ・ユニットの番号の  にレ点が付けられているか確認してください。

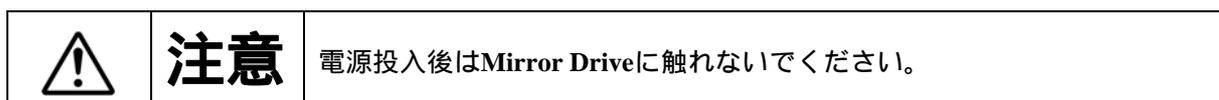


ドライブ・ユニットの差し込み方向

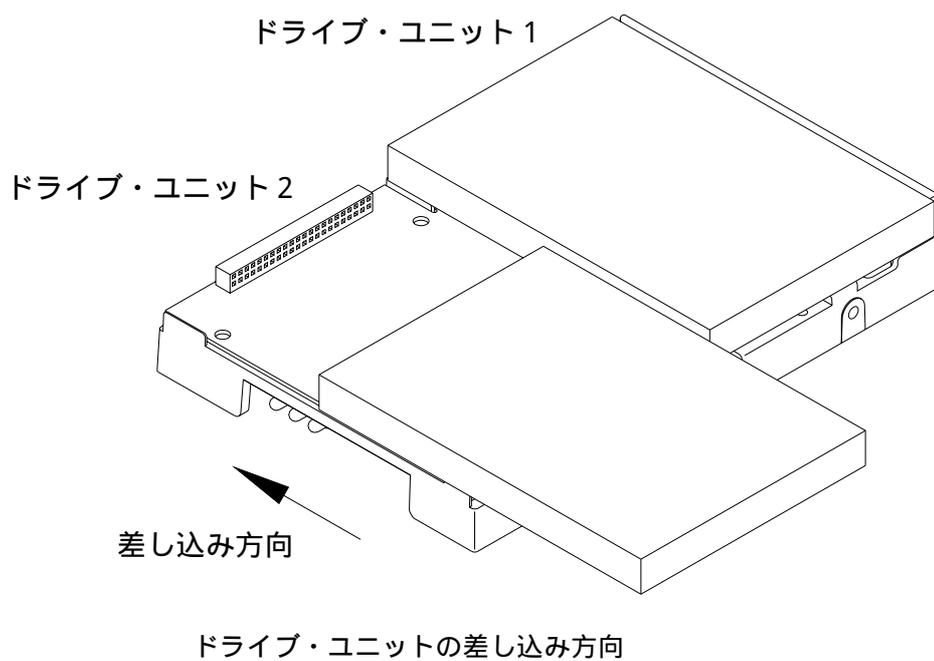
- 交換用ドライブ・ユニット 1 を固定する 4 本のネジを指定のトルクで締めつけてください。  
(推奨締め付けトルク 0.29 N・m)  
4 本のネジは一度に締めつけず少しずつ均等に締めつけてください。



- ドライブ・ユニット 1 を取付けた状態で、一旦電源を投入してください。  
ドライブ・ステータス・インジケータまたはブザーでドライブ・ユニット 2 が故障状態であることを確認してください。



- ドライブ・ユニット 2 の故障状態確認後、電源を遮断してください。
- 取り外した時の逆の要領で交換用ドライブ・ユニット 2 をコネクタに差し込んでください。  
この時、ラベル上の対応するドライブ・ユニットの番号の にレ点が付けれられているか確認してください。



10. 交換用ドライブ・ユニット2を固定する4本のネジを指定のトルクで締めつけてください。  
(推奨締め付けトルク 0.29 N・m)  
4本のネジは一度に締めつけず少しずつ均等に締め付けてください。
11. ドライブ・ユニット2取付け後、電源を投入してください。  
数秒後にドライブ・ユニット2側のドライブ・ステータス・インジケータが緑色に点灯し、データの再構築が始まります。データの再構築が終了すると、ドライブ・ステータス・インジケータは消灯します。
12. ドライブ・ユニット2側のドライブ・ステータス・インジケータが緑色に変わらない場合、または再度橙色に点灯する場合は、両ドライブ・ユニットの接続状態を確認してください。それでも復旧しない場合は、巻末のサポートデスクまでお問い合わせください。

## 3.2 Mirror Drive ( AT Model ) の場合

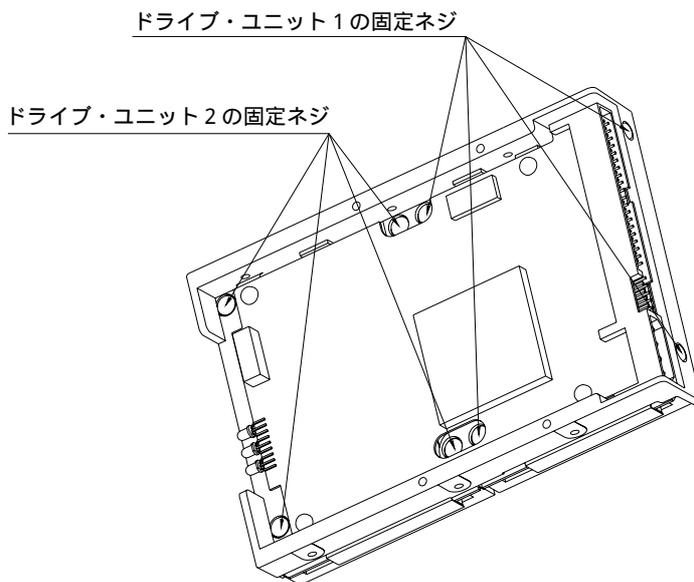
ホスト・コンピュータの電源を遮断し、Mirror Driveを取り外してからドライブ・ユニットの交換を行ってください。

ドライブ・ユニットを交換後、ホスト・コンピュータにMirror Driveを取りつけてから電源を投入すると自動的にデータの再構築が始まります。データの再構築中も、ホスト・コンピュータからのアクセスに対して正常に動作します。

	<h3>注意</h3>	<p>ドライブ・ユニットの交換作業を行う時は、ホスト・コンピュータのシャーシや電源などの金属部分に触れて、身体の静電気を放電してから行ってください。</p>
---	-------------	--

### ドライブ・ユニット交換手順 ( 1台交換の場合 )

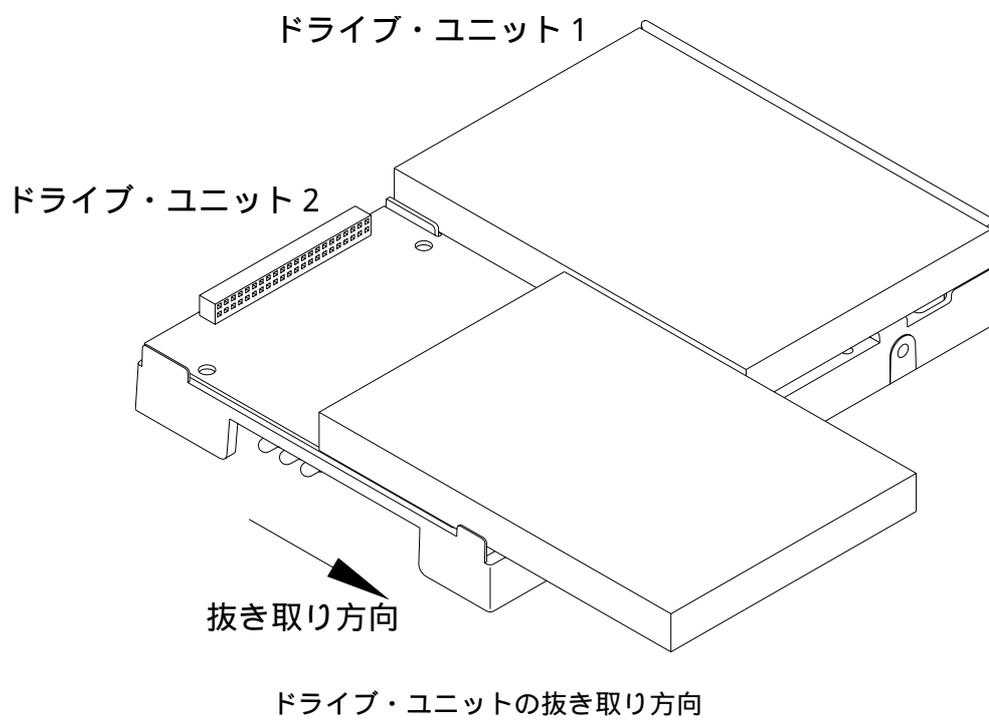
1. ドライブ・ステータス・インジケータおよびブザーにより、故障したドライブ・ユニットを確認してください。
2. Mirror Driveをホスト・コンピュータより取り外してください。
3. 故障したドライブ・ユニットを固定している4本のネジを外してください。  
ドライブ・ユニットを固定しているネジについては下図を参照してください。



ドライブ・ユニットの固定ネジ位置

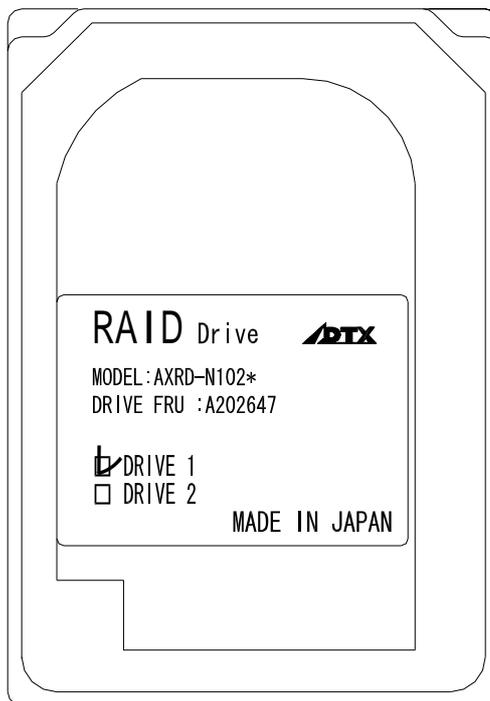
	<h3>注意</h3>	<p>ドライブ・ユニットを2台交換する時以外はドライブ・ユニットを2台同時に外さないでください。交換用ドライブ・ユニットについているジャンパー・ピンは、出荷時の状態でご使用ください。外したり別のピンに取付けたりすると誤動作の原因になります。</p>
---	-------------	--

4. **Mirror Drive**を平らな場所に置いた静電防止防湿袋の上に置き、交換するドライブ・ユニットを水平にずらすようにしてコネクタから抜き取ります。抜き取る方向については下図を参照してください。



	<b>注意</b>	ドライブ・ユニットをコネクタから抜く際、ドライブ・ユニットを持ち上げたり、左右に大きくずらすようなことはしないでください。コントローラ・ユニット上のハンダ部分やコネクタの勘合部が破壊することがあります。
--	-----------	---

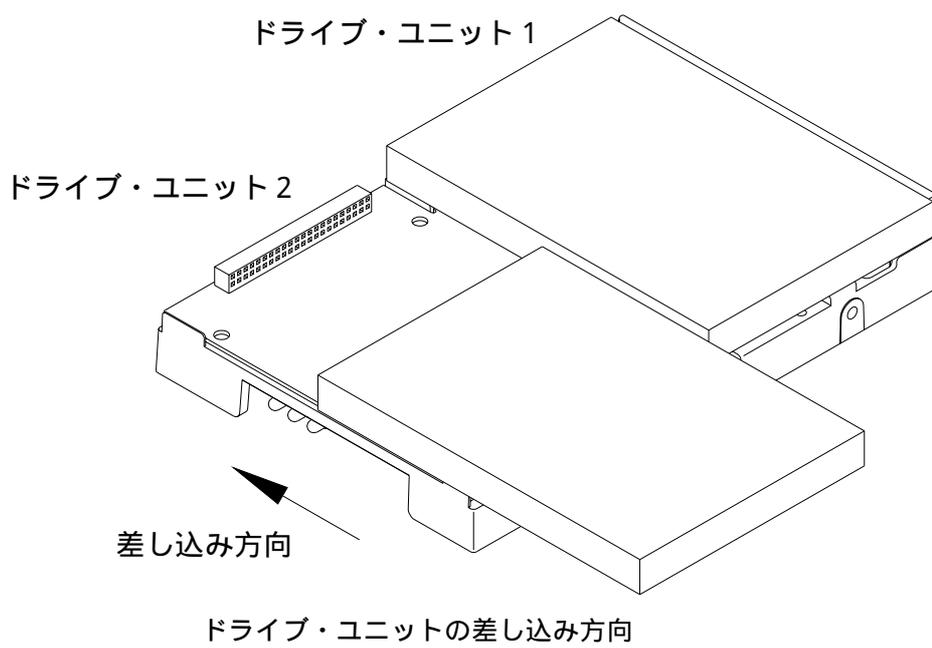
5. ドライブ・ユニットの番号を区別するために、新しいドライブ・ユニットのラベル上の対応するドライブ・ユニットの番号の  に油性マジックなどでレ点を付けてください。



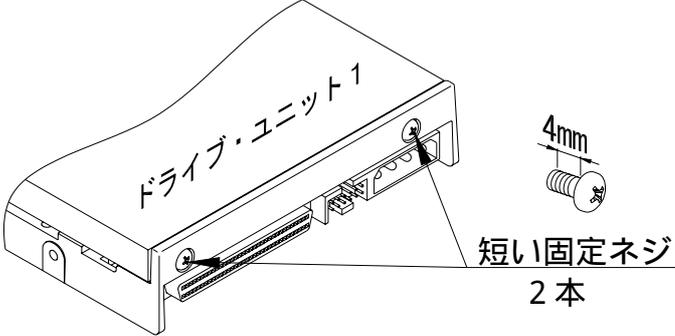
(例) ドライブ・ユニット 1 にチェック

	<b>注意</b>	レ点を付ける時はドライブ・ユニットの表面を強く押さないでください。 ドライブ・ユニットが故障する恐れがあります。
--	-----------	---

6. 取り外した時の逆の要領で新しい交換用ドライブ・ユニットをコネクタに差し込んでください。  
この時、ラベル上の対応するドライブ・ユニットの番号の  にレ点が付けられているか確認してください。



7. 交換用ドライブ・ユニットを固定する4本のネジを指定のトルクで締めつけてください。  
(推奨締め付けトルク 0.29 N・m)  
4本のネジは一度に締めつけず少しずつ均等に締め付けてください。

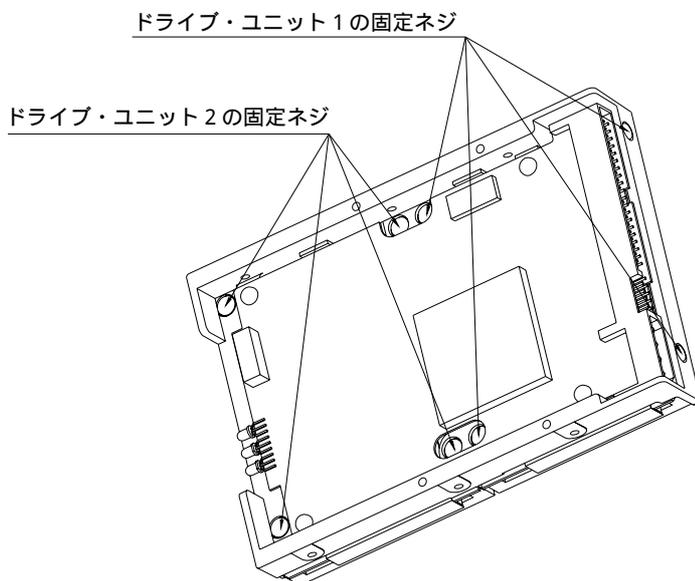
	<b>注意</b>	<p>ドライブ・ユニット1を固定するネジは、装置後部側の2本(長さ4mm)が短くなっています。この部分には他の長いネジ(長さ6mm)を使用しないでください。</p> 
---	-----------	---

8. ドライブ・ユニット交換後、電源を投入すると数秒後に交換したドライブ・ユニットのドライブ・ステータス・インジケータが橙色に点灯し、データの再構築が始まります。
9. データの再構築中は、交換したドライブ・ユニットのドライブ・ステータス・インジケータは橙色になり、交換していない方は緑色に点灯します。
10. データの再構築が終了すると、ドライブ・ステータス・インジケータは消灯します。
11. 交換したドライブ・ユニットのドライブ・ステータス・インジケータが、橙色に変わらない場合、または再度赤色が点灯した場合は、手順2から再度やり直してください。

	<b>重要</b>	<p>誤って故障していないドライブ・ユニットを交換してしまった場合は、両方のドライブ・ユニットのドライブ・ステータス・インジケータが緑色に点灯し、アクセス・インジケータが橙色に点滅してホスト・コンピュータからアクセスできなくなります。</p> <p>この場合、電源を一度遮断し、誤って交換したドライブ・ユニットを元に戻し、手順2から再度やり直してください。</p>
---	-----------	--

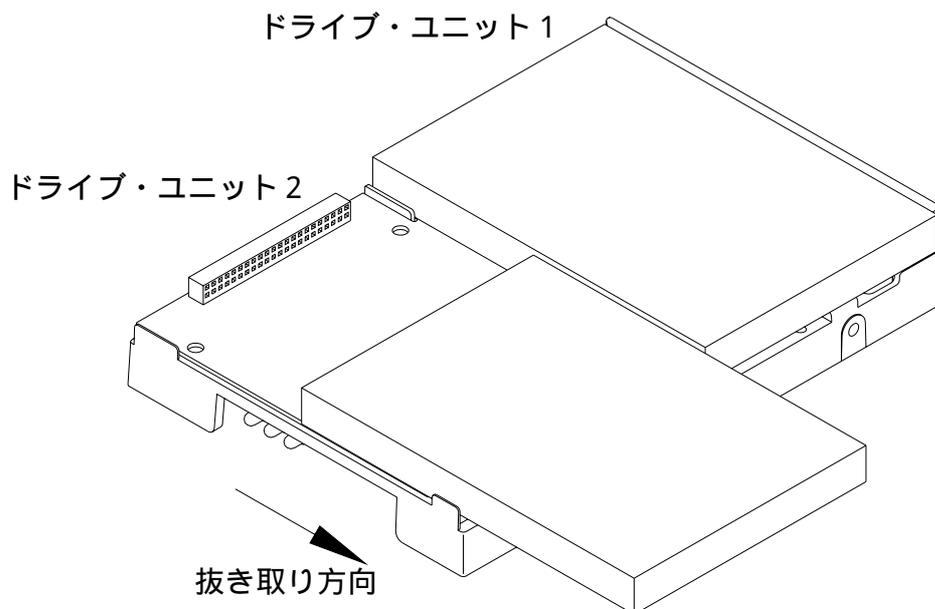
## ドライブ・ユニット交換手順（2台交換の場合）

1. **Mirror Drive**をホスト・コンピュータより取り外してください。
2. 両方のドライブ・ユニットを固定しているネジを外してください。  
ドライブ・ユニットを固定しているネジについては下図を参照してください。



### ドライブ・ユニットの固定ネジ位置

3. **Mirror Drive**を平らな場所に置いた静電防止防湿袋の上に置き、ドライブ・ユニットを2台とも水平にずらすようにしてコネクタから抜き取ります。抜き取る方向については下図を参照してください。



### ドライブ・ユニットの抜き取り方向

	<h2>注意</h2>	<p>ドライブ・ユニットをコネクタから抜く際、ドライブ・ユニットを持ち上げたり、左右に大きくずらすようなことはしないでください。コントローラ・ユニット上のハンダ部分やコネクタの勘合部が破壊することがあります。</p>
---	-------------	--

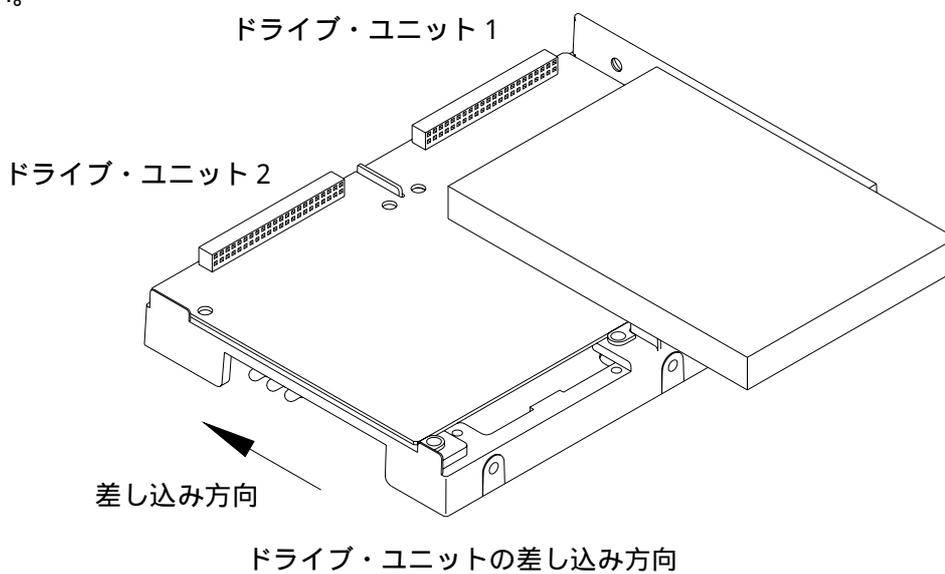
4. ドライブ・ユニットの番号を区別するために、交換用ドライブ・ユニットのラベル上の対応するドライブ・ユニットの番号の  に油性マジックなどでレ点を付けてください。



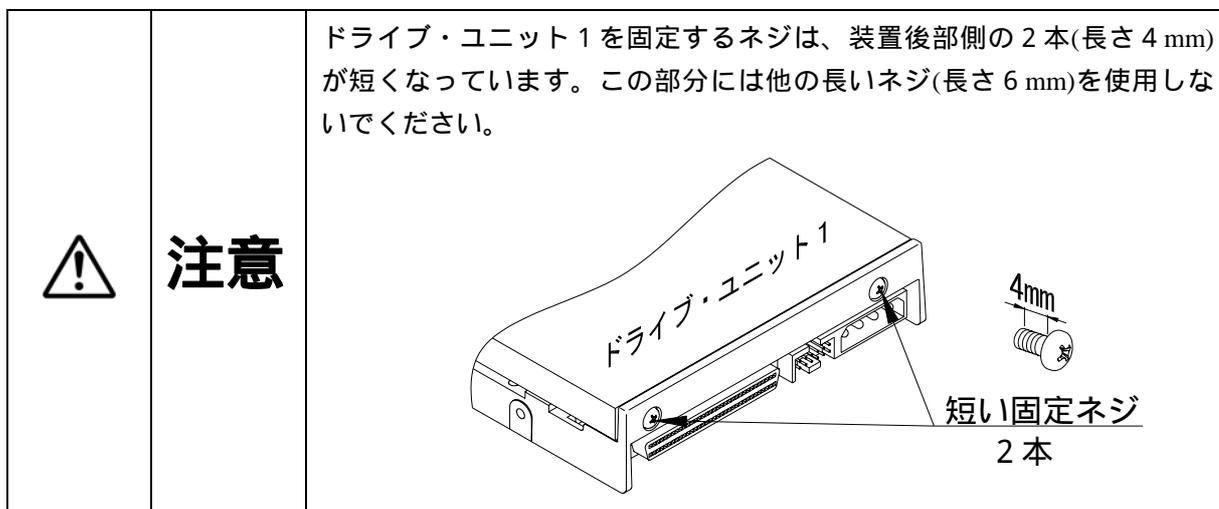
(例) ドライブ・ユニット1にチェック

	<h2>注意</h2>	<p>レ点を付ける時はドライブ・ユニットの表面を強く押さないでください。ドライブ・ユニットが故障する恐れがあります。</p>
---	-------------	--

5. 取り外した時の逆の要領で交換用ドライブ・ユニット1をコネクタに差し込んでください。この時、ラベル上の対応するドライブ・ユニットの番号の  にレ点が付けられているか確認してください。



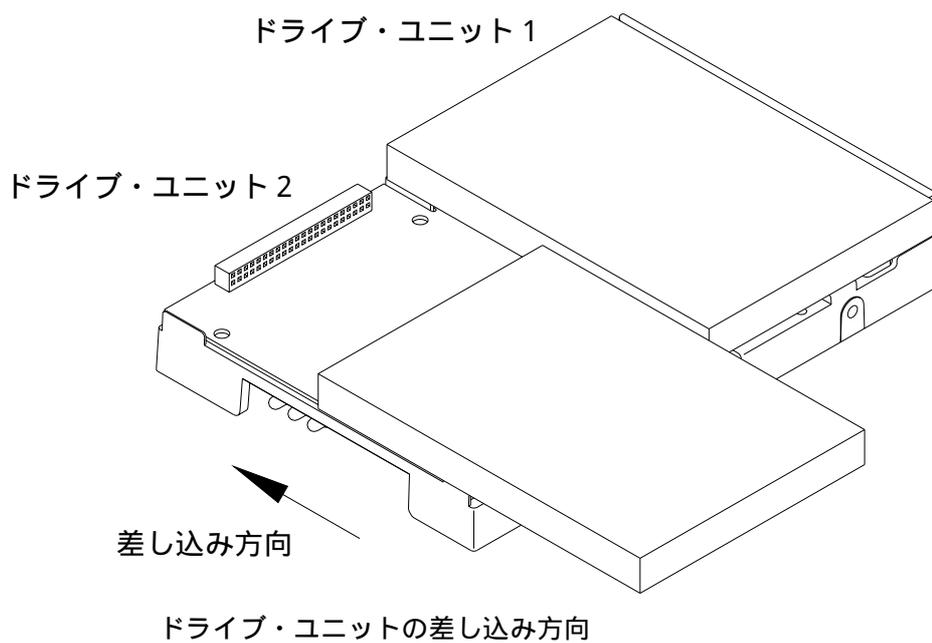
6. 交換用ドライブ・ユニット 1 を固定する 4 本のネジを指定のトルクで締めつけてください。  
 (推奨締め付けトルク 0.29 N・m)  
 4 本のネジは一度に締めつけず少しずつ均等に締め付けてください。



7. ドライブ・ユニット 1 を取付けた状態で、一旦電源を投入してください。  
 ドライブ・ステータス・インジケータまたはブザーでドライブ・ユニット 2 が故障状態であることを確認してください。



8. ドライブ・ユニット 2 の故障状態確認後、電源を遮断してください。
9. 取り外した時の逆の要領で交換用ドライブ・ユニット 2 をコネクタに差し込んでください。  
 この時、ラベル上の対応するドライブ・ユニットの番号の にレ点が付けれられているか確認してください。



10. 交換用ドライブ・ユニット2を固定する4本のネジを指定のトルクで締めつけてください。  
(推奨締め付けトルク 0.29 N・m)  
4本のネジは一度に締めつけず少しずつ均等に締め付けてください。
11. ドライブ・ユニット2取付け後、電源を投入してください。  
数秒後にドライブ・ユニット2側のドライブ・ステータス・インジケータが橙色に点灯し、データの再構築が始まります。データの再構築が終了すると、ドライブ・ステータス・インジケータは消灯します。
12. ドライブ・ユニット2側のドライブ・ステータス・インジケータが橙色に変わらない場合、または再度赤色に点灯する場合は、両ドライブ・ユニットの接続状態を確認してください。それでも復旧しない場合は、巻末のサポートデスクまでお問い合わせください。

## 4 データの再構築

故障が発生してから正しくドライブ・ユニットが交換されると、ホスト・コンピュータの電源投入後、自動的にデータの再構築（正常のドライブ・ユニットから交換したドライブ・ユニットにデータのコピー）が始まります。

データ再構築中でもMirror Driveを使用することができますが、SCSI ModelとAT Modelではドライブ・ステータス・インジケータの点灯内容が異なりますので下記を参照してください。

- SCSI Modelの場合

再構築中は正常なドライブ・ユニットのドライブ・ステータス・インジケータが消灯し、交換したドライブ・ユニットのドライブ・ステータス・インジケータは緑色に点灯します。

- AT Modelの場合

再構築中は正常なドライブ・ユニットのドライブ・ステータス・インジケータが緑色に点灯し、交換したドライブ・ユニットのドライブ・ステータス・インジケータは橙色に点灯します。

	<b>注意</b>	データ再構築中はMirror Driveを取付けているホスト・コンピュータの電源を遮断しないでください。正常なドライブ・ユニット側のデータも破壊してしまいデータの再構築が出来なくなる恐れがあります。
--	-----------	---

データ再構築中に正常なドライブ・ユニット上に読み込めないセクタが存在すると、そのセクタをスキップしてデータの再構築を続けます。スキップしたセクタは読み込むことができなくなります。しかし、そのセクタにデータを書き込むと、その後は、そのセクタは読み込むことができます。

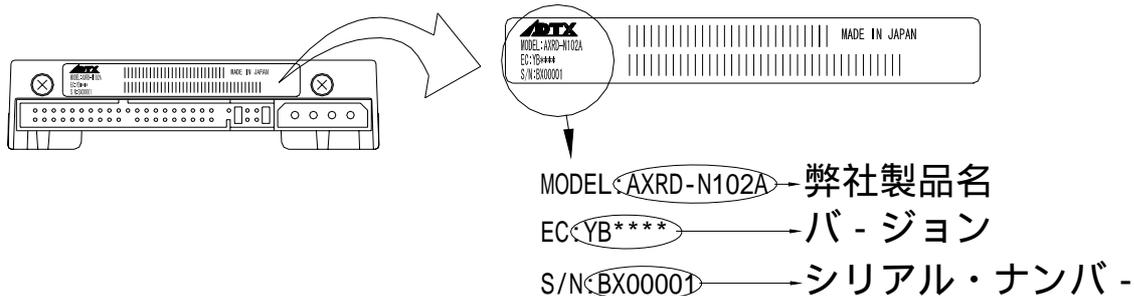
	<b>重要</b>	データ再構築中にエラーをスキップしてデータの復旧を行った場合、そのセクタのデータは消失してしまいます。定期的にバックアップを取ることをお勧めします。
---	-----------	--

# お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは、お求めになった販売店またはサポートデスクまでお願いします。  
なお、お問い合わせ時は下記の「お知らせいただく内容」についてお知らせください。

## お知らせいただく内容

1. お客様の住所、氏名、郵便番号、連絡先の電話番号およびFAX番号
2. ご使用の弊社製品名、バージョンおよびシリアル・ナンバー  
(弊社製品名などの記載場所は、下記の図を参考にしてください。)



3. ご使用のOSおよびバージョン
4. 現在の状態 (どのような時に、どうなり、現在どうなっているか。モニター画面の状態やエラー・メッセージなどの内容。)

## 株式会社ストレージ・ビジョン

〒108-0014 東京都港区芝4丁目13番2号

市原ビル 2F

ホームページ <http://www.str-v.com>

当製品についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

お客様サポート電子メール [cs@str-v.com](mailto:cs@str-v.com)

### メモ

お買い求めになった販売店および保守担当会社

販売店名 :

電話番号 :

保守担当会社名 :

電話番号 :